

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
音楽 I	1	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	音楽 I 改訂版 Tuttil 教育出版社
使用教材等	ピアノ(キーボード)用楽曲 クラシック・ギター奏法・楽曲 プリント

科目(公共) の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲(歌曲と器楽)の課題を演奏するための技法(テクニック)を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題曲の練習をする中で、生徒自身が楽曲の世界観をイメージし表現する能力。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、ピアノ(キーボード)、クラシック・ギターの練習に取り組む姿勢態度。
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<p>単元名 A 歌唱の取り組み B 器楽(ピアノ/キーボード)の取り組み</p> <p>【知】"Technical" ・歌唱や器楽を演奏する技術面を習得するにあたり、提示された課題(練習曲・楽曲)を譜面から読み込んで理解し、正確な奏法を獲得する。</p> <p>【思】"Artistic" ・上記の練習をする中で楽曲の世界観をイメージして解釈 Interpretation し、曲に対する自分の思いを込めて表現することを目標とする。</p> <p>【態】"Allure" ・歌唱における全体での斉唱や合唱へ向かう態度。 ・器楽の個別練習へ向かう集中力。 ・「記録シート」へ毎回の授業について自身の感想および次回への目標等を文章で記入報告し提出する。</p> <p>◎新型コロナウイルス対策による歌唱が不可能な場合は、器楽(ピアノやギター)を先行して取り組む。</p>	<p>・指導事項 A 歌唱の取り組み 「校歌」斉唱と合唱 (S.A.T.B.各パート) 「少年時代」「翼をください」 「やさしさに包まれたなら」他</p> <p>B 器楽(ピアノ・キーボード)の取り組み ・基本的な発声の姿勢・各曲のテキスト(歌詞)からイメージして世界観を考えながら歌う。・正しい指使いで右手・左手・両手の順で様々な音階を練習する。12 Variationen über „Ah, vous dirai-je, Maman“ より主題と変奏曲を練習</p> <p>・教材 教科書、プリント、資料</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>単元名 A 歌唱の取り組み B 器楽(ピアノ・キーボード)の取り組み</p> <p>【知】"Technical" ・歌唱や器楽(ピアノ・キーボード)の課題曲を譜面通りに演奏する技術を獲得したか。 ・鍵盤を正しい指使いで右手・左手・両手の順で様々な音階を練習できたか。</p> <p>【思】"Artistic" ・上記の練習して解釈 Interpretation し、曲に対する自分の思いを込めて表現できたか。</p> <p>【態】"Allure" ・斉唱や合唱へ向かう音楽的な態度。 ・器楽の個別練習への集中力。 ・「記録シート」へ自身の感想等を的確に記入し提出したか。</p>

2	<p>単元名 A 歌唱の取り組み B 器楽(クラシック・ギター)の取り組み</p> <p>【知】“Technical” ・歌唱や器楽を演奏する技術面を習得するにあたり、提示された課題(練習曲・楽曲)を譜面から読み込んで理解し、正確な奏法を獲得する。</p> <p>【思】“Artistic” ・上記の練習をする中で楽曲の世界観をイメージして解釈 Interpretation し、曲に対する自分の思いを込めて表現することを目標とする。</p> <p>【態】“Allure” ・歌唱における全体での斉唱や合唱へ向かう態度。 ・器楽の個別練習へ向かう集中力。 ・「記録シート」へ毎回の授業について自身の感想および次回への目標等を文章で記入報告し提出する。</p> <p>◎新型コロナウイルス対策による歌唱が不可能な場合は、器楽(ピアノやギター)を先行して取り組む。</p>	<p>・指導事項 A 歌唱の取り組み ・発声練習とストレッチ・歌唱「野ばら Heidenröslein」(Werner, Schubert作曲)/ドイツ語歌詞 「White Christmas」「Edelweiss」/英語歌詞</p> <p>B 器楽(クラシックギター)の取り組み 音階のポジション「きらきら星」「フレール・ジャック」「大きな古時計」</p> <p>・教材 教科書、プリント、資料</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>単元名 A 歌唱の取り組み B 器楽(クラシック・ギター)の取り組み</p> <p>【知】“Technical” ・歌唱や器楽(クラシック・ギター)の課題曲を譜面通りに演奏する技術を獲得したか。 ・外国語の歌唱において、楽曲に合致したアクセントや子音など発音と発声ができたか。</p> <p>【思】“Artistic” ・上記の練習して解釈 Interpretation し、曲に対する自分の思いを込めて表現できたか。</p> <p>【態】“Allure” ・斉唱や合唱へ向かう音楽的な態度。 ・器楽の個別練習への集中力。 ・「記録シート」へ自身の感想等を的確に記入し提出したか。</p>
3	<p>単元名 A 歌唱の取り組み B 器楽(ピアノを用いた弾き歌い)の取り組み</p> <p>【知】“Technical” ・歌唱や器楽を演奏する技術面を習得するにあたり、提示された課題(練習曲・楽曲)を譜面から読み込んで理解し、正確な奏法を獲得する。</p> <p>【思】“Artistic” ・上記の練習をする中で楽曲の世界観をイメージして解釈 Interpretation し、曲に対する自分の思いを込めて表現することを目標とする。</p> <p>【態】“Allure” ・歌唱における全体での斉唱や合唱へ向かう態度。 ・器楽の個別練習へ向かう集中力。 ・「記録シート」へ毎回の授業について自信の感想および次回への目標等を文章で記入報告し提出する。</p> <p>◎新型コロナウイルス対策による歌唱が不可能な場合は、器楽(ピアノやギター)を先行して取り組む。</p>	<p>・指導事項 A 歌唱の取り組み ・発声練習とストレッチ ・歌唱「さくら(独唱)」 「The Second Star To The Right」 「It's A Small World」/英語歌詞</p> <p>B ピアノを用いた簡易な弾き歌いの取り組み カデンツを用いた和声進行を弾きながらソプラノ声部を歌う基礎練習。 楽曲「小さな世界」「君をのせて」の弾き歌い</p> <p>・教材 教科書、プリント、資料</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>単元名 A 歌唱の取り組み B 器楽(簡易な楽曲の弾き歌い)の取り組み</p> <p>【知】“Technical” ・歌唱や器楽(ピアノ・キーボード)の課題曲を譜面通りに演奏する技術を獲得したか。 ・簡易な伴奏楽譜で右手→左手→両手に加えて歌を合わせて演奏できたか。</p> <p>【思】“Artistic” ・上記の練習して解釈 Interpretation し、曲に対する自分の思いを込めて表現できたか。</p> <p>【態】“Allure” ・斉唱や合唱へ向かう音楽的な態度。 ・弾き歌いの個別練習への集中力。 ・「記録シート」へ自身の感想等を的確に記入し提出したか。</p>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。